



8月	9月	10月
・あけぼの通信発行 ・事業所評価(職員) ・ミニ縁日 ・おやつ作り	・運営推進会議 ・災害時想定訓練 ・集いスペース(庭)の整備(花壇/畑/ベンチ)	・地域の祭り見学 ・みかん狩り ・お誕生日会 ・料理レク ・職員ストレッチ
11月	12月	1月
・あけぼの通信発行 ・事業所評価実施/結果の公表 ・運営推進会議 ・紅葉狩り・文化祭 ・お誕生日会 ・職員健康診断	・クリスマス会 ・正月飾り ・お誕生日会	・正月遊び/初詣 ・七草がゆ ・書初め ・どんど焼き ・運営推進会議 ・お誕生日会

Information 【令和7年度利用者満足度調査について】

6月に全ご利用者を対象に【満足度調査】を実施いたしました。入院中の方を除き登録者25名の内23名より回答(男性11名 女性12名)をいただきました。集計を行い、8月中にはホームページにて結果の公表を行います。通所での食事の満足度が非常に高く、職員の運転マナーは改善していましたが【報連相】の面では幾つかご指摘を頂戴しています。有難う御座いました。

編集後記

長年事業計画に掲げつつも実現させる事が叶わなかった事業所内敷地の一部整備を今秋より開始していく予定です。車いすや椅子に座ったままでも園芸が出来る花壇の整備や、屋外でゆったりと過ごせる様なベンチやテーブルの設置をしていく予定です。事業所の敷地は毎夜鹿の溜まり場になっているので、植えた花や野菜の保護について研究中です。



あけぼの通信

つねよし No.5 令和7.8

～さり気なく寄り添えるプロであれ～

強い決意のもと「3か月に一度は発行しよう！」と広報誌の画面を立ち上げては次々に入ってくる用務に切り替え対応している内に、何と発行予定の4月から4か月も延びてしまいました……。反省です。

さて私自身40代も半ばを過ぎ、日頃高齢者や様々なご家庭と接するなかで【人生の仕舞い方】について考える事が増えてきました。

人生の締めくくり期は加齢や病気により、どうしても人の支援が必要となる事が増えていきます。

亡くなる瞬間に「良い人生だった」と思えるには、安心して心を打ち明けられる支援者に巡り合えたかどうか…これは大きく影響します。

どの利用者も我々の様に想いや感情を持った人間であり、誰かの大切な人です。上手く言葉に出来ない気持ちをそっと汲み取れる様な温かいケアを提供できる事業所であって欲しいと思っています。

「私の最期はあけぼの荘みたいな事業所に伴走してもらいたい」と職員自身が感じられる事業所を職員同士が協力して作り上げて欲しいと思います。

管理者 松本章子



え 笑笑 和 な

